

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-175

(P2009-175A)

(43) 公開日 平成21年1月8日 (2009.1.8)

(51) Int. Cl.

A 6 1 F 5/37 (2006.01)

F 1

A 6 1 F 5/37

B

テーマコード (参考)

4 C 0 9 8

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2007-161811 (P2007-161811)  
 (22) 出願日 平成19年6月19日 (2007.6.19)

(71) 出願人 591251658  
 萩原 英男  
 山梨県甲府市湯村 3-9-15  
 (74) 代理人 100080654  
 弁理士 土橋 博司  
 (72) 発明者 萩原 英男  
 山梨県甲府市湯村 3-9-15  
 Fターム (参考) 4C098 AA05 EE02

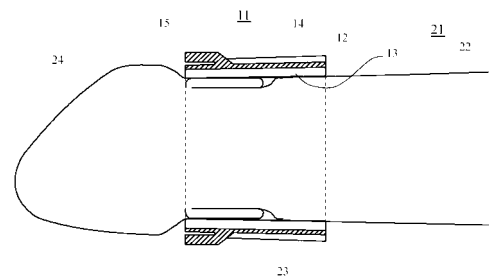
(54) 【発明の名称】 包茎用サポーター

## (57) 【要約】

【課題】 陰茎の大小に適応しやすく、装着時の異物感もない上、尿道が圧迫されることがないので長時間の使用に耐えることができ、また使用中に小用を足したり、性行為をする際にも障害となることのない包茎用サポーターの提供を目的とするものである。

【解決手段】 ペニスの茎部に引き戻された包皮の上に装着する所定の厚さを有する軟質ゴム製の帯状リングからなり、該帯状リングの内周側にはその長さ方向に沿って上下一対の溝部が形成されており、さらに帯状リングの龟头側には帯状リングの外側に別途該帯状リングよりも幅の狭い軟質ゴム製の脱落防止リングを取り付けたことを特徴とする包茎用サポーター。

【選択図】 図5



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

ペニスの茎部に引き戻された包皮の上に装着する所定の厚さを有する軟質ゴム製の帯状リングからなり、該帯状リングの内周側にはその長さ方向に沿って上下一对の溝部が形成されており、さらに帯状リングの亀頭側には帯状リングの外側に別途該帯状リングよりも幅の狭い軟質ゴム製の脱落防止リングを取り付けたことを特徴とする包茎用サポーター。

## 【請求項 2】

帯状リングの内周側に形成した上下一对の溝部が、ペニスの尿道を確保するスペースとして利用できるようにしてなることを特徴とする請求項 1 記載の包茎用サポーター。

## 【請求項 3】

帯状リングの外側において帯状リングの亀頭側に取り付けた軟質ゴム製の脱落防止リングが、該帯状リングの亀頭とは反対側において帯状リングに連結一体化されていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の包茎用サポーター。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

この発明は仮性包茎の人の包皮の戻りを一部阻止して、亀頭を露出させた状態を維持するために使用する包茎用サポーターに関する。

## 【背景技術】

## 【0002】

従来の包茎用サポーターとしては、下記のような種類のものが提案されている。

1) 粘着シートでペニスの茎部に包皮を貼り付けて保持するようにしたもの。

実開昭 55-173322 号公報 (特許文献 1 参照)、特開平 9-140737 号公報 (特許文献 2 参照)

2) リング状の器具でペニスの茎部に包皮を保持するようにしたもの。

特開平 6-197913 号公報 (特許文献 3 参照)、特開平 9-75384 号公報 (特許文献 4 参照)、実開昭 64-39716 号公報 (特許文献 5 参照)、

3) 筒状の器具でペニスの茎部に包皮を保持するようにしたもの。

実開昭 63-53518 号公報 (特許文献 6 参照)、特開 2002-253588 号公報 (特許文献 7 参照)

【特許文献 1】 実開昭 55-173322 号公報

【特許文献 2】 特開平 9-140737 号公報

【特許文献 3】 特開平 6-197913 号公報

【特許文献 4】 特開平 9-75384 号公報

【特許文献 5】 実開昭 64-39716 号公報

【特許文献 6】 実開昭 63-53518 号公報

【特許文献 7】 特開 2002-253588 号公報

## 【発明の開示】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0003】

しかしながら、1) の粘着シートからなる包茎用サポーターにおいてはペニスが粘着材によってかぶれたり、外す際に傷ついてしまったりするおそれがあった。

また 2)、3) のリング状や筒状の器具でペニスの茎部を締め付ける構造においては、ペニスと同時に尿道が圧迫されてしまって長時間の使用に耐えるものではなく、使用中に小用を足したり、性行為をする際に障害となってしまうという欠点があった。

## 【0004】

この発明は上記した欠点を解消するためのもので、陰茎の大小に適応しやすく、装着時の異物感もない上、尿道が圧迫されることがないので長時間の使用に耐えることができ、また使用中に小用を足したり、性行為をする際にも障害となることのない包茎用サポーターの提供を目的とするものである。

10

20

30

40

50

## 【課題を解決するための手段】

## 【0005】

すなわちこの発明の包茎用サポーターは、ペニスの茎部に引き戻された包皮の上に装着する所定の厚さを有する軟質ゴム製の帯状リングからなり、該帯状リングの内周側にはその長さ方向に沿って上下一対の溝部が形成されており、さらに帯状リングの亀頭側には帯状リングの外側に別途該帯状リングよりも幅の狭い軟質ゴム製の脱落防止リングを取り付けたことを特徴とするものである。

## 【0006】

この発明の包茎用サポーターは、前記帯状リングの内周側に形成した上下一対の溝部が、ペニスの尿道を確保するスペースとして利用できるようにしてなることをも特徴とするものである。

10

## 【0007】

この発明の包茎用サポーターは、前記帯状リングの外側において帯状リングの亀頭側に取付けた軟質ゴム製の脱落防止リングが、該帯状リングの亀頭とは反対側において帯状リングに連結一体化されていることをも特徴とするものである。

## 【発明の効果】

## 【0008】

この発明の包茎用サポーターは以下のような効果を奏するものである。

(A) ペニスの茎部に折り返された包皮が、この発明の帯状リングで覆われて保持されるため、包皮がペニスの茎部に留まるような癖がつきやすく、亀頭部が常に露出されて清潔に保つことができる。

20

(B) この発明においては、帯状リングの内周側に形成した上下一対の溝部がペニスの尿道を確保する上、溝部の両側において所定の円弧状を保ちながら、溝部の薄肉部が伸張するので、尿道が圧迫されることがないために長時間の使用に耐えることができ、また使用中に小用を足したり、性行為をする際にも障害となることがない。

(C) この発明の帯状リングはよく伸びるので個人個人のペニスの大小にも適応しやすく、勃起時にも異物感が少ない。

(D) この発明の帯状リングの亀頭側には、帯状リングの外側に別途該帯状リングよりも幅の狭い軟質ゴム製の脱落防止リングを取り付けたので、前記帯状リングが溝部の両側において所定の円弧状を保ちながらペニスを締め付けることと相まって、ペニスへの包茎用サポーターの装着を確実にものとしてその脱落を防止することができる。

30

また性交時には、ペニスからの包茎用サポーターの脱落を防止する機能以上に亀頭部を充血させ、勃起を促す働きをする。

## 【発明を実施するための最良の形態】

## 【0009】

以下この発明の包茎用サポーターの実施の形態を、図面に基いて詳細に説明する。

図1はこの発明の包茎用サポーターの1実施例を示す正面図、図2はその背面図、図3はその縦断面図、図4はその斜視図、図5は使用状態の縦断面図、図6は使用状態の横断面図である。

## 【0010】

40

図1ないし図4において、この発明の包茎用サポーター11はペニスの茎部に引き戻された包皮の上に装着することが可能な、例えば2.5～10mm程度の厚さを有する軟質ゴム製の帯状リング12からなるものである。この軟質ゴム素材としては長さ方向に数倍以上の伸張力を有するシリコンゴム弾性体とすることが望ましい。もちろん、同様の性質を備えたものであれば何らシリコンゴム弾性体に限定されるものではない。

## 【0011】

該帯状リング12は亀頭側に向かってつぼまるテーパ状に形成され、かつその内周側にはその長さ方向に沿って上下一対の溝部13が形成されている。この溝部13は数mm程度の幅を有し、また溝部13の肉厚は帯状リング12の肉厚の1/3程度とすることが望ましい。

50

溝部 1 3 をこのようにしたことにより、带状リング 1 2 が拡張する際には溝部 1 3 以外は円弧状を保ったまま、薄肉の溝部 1 3 において伸張する。したがって、带状リング 1 2 が拡張する場合においても、溝部 1 3 の本来の目的である尿道の確保については何ら損なわれることがない。

#### 【0012】

なお、溝部 1 3 を上下一対としたことについては、带状リング 1 2 が拡張する際に溝部 1 3 以外は円弧状を保ったまま薄肉の溝部 1 3 において伸張するという機能を効果的に果たすという作用がある。1 4 は溝部 1 3 の長さ方向に沿ってその外周上に形成したリブであり、この発明の包茎用サポーター 1 1 をペニスの尿道にあわせて正しく装着できるようにするためのものである。

10

#### 【0013】

次に、前記带状リング 1 2 の龟头側には、带状リング 1 2 の外周上に、別途带状リング 1 2 よりも幅の狭い軟質ゴム製の脱落防止リング 1 5 が取り付けられている。この脱落防止リング 1 5 は、前記带状リング 1 2 が溝部 1 3 の両側において所定の円弧状を保ちながらペニスを締め付けることと相まって、ペニスへの包茎用サポーター 1 1 の装着を確実なものとしてその脱落を防止する作用がある。

また性交時には、ペニスからの包茎用サポーター 1 1 の脱落を防止する機能以上に龟头部を充血させ、勃起を促す働きをするものである。

#### 【0014】

なお、前記带状リング 1 2 の外側において带状リング 1 2 の龟头側に取り付けた軟質ゴム製の脱落防止リング 1 5 は、前記带状リング 1 2 の龟头とは反対側において带状リング 1 2 に連結一体化したものとすることができる。こうすることによって、脱落防止リング 1 5 を带状リング 1 2 と別に操作する必要がなく、また製造や組立も容易で大幅なコスト削減につながる。

20

#### 【0015】

この発明の包茎用サポーター 1 1 の使用に際しては、図 5 および図 6 に示すように包皮 2 3 を龟头 2 4 から剥がしてペニス 2 1 の茎部 2 2 上に折り返し、その上から包茎用サポーター 1 1 の带状リング 1 2 を装着する。

装着に際しては、前記リブ 1 4 を目印にして带状リング 1 2 内周の溝部 1 3 が尿道に沿うように取り付ける。この状態で所定時間保持することにより、包皮がペニス 2 1 の茎部 2 2 に留まるような癖がつきやすく、包茎を治癒することができるようになる。また龟头 2 4 部分が常に露出されているので清潔に保つことが可能となる。

30

#### 【0016】

その際、带状リング 1 2 の外周上に設けた脱落防止リング 1 5 により、包茎用サポーター 1 1 の装着が安定し、かつその脱落を確実に防ぐことができる。

また性交時には、ペニス 2 1 からの包茎用サポーター 1 1 の脱落を防止する機能以上に龟头 2 4 部分を充血させ、勃起を促す働きをする。

#### 【0017】

带状リング 1 2 のペニス 2 1 への装着および取外しは、带状リング 1 2 を構成する軟質ゴム素材が長さ方向に数倍以上の伸張力を有するものであるため、带状リング 1 2 を引き伸ばしながら簡単に行なうことができる。

40

もちろん包茎用サポーター 1 1 は連続的に長時間着用することは避けることが望ましく、また常に乾燥した状態で、かつ頻繁に除菌して使用することが望ましい。

#### 【産業上の利用可能性】

#### 【0018】

この発明の包茎用サポーターは、単に仮性包茎の治療のためだけでなく、ペニスの勃起を促して正常な性交を行ないやすくするペニスサポーターとしても使用することが可能である。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0019】

50

【図 1】 この発明の包茎用サポーターの 1 実施例を示す正面図である。

【図 2】 その背面図である。

【図 3】 その縦断面図である。

【図 4】 その斜視図である。

【図 5】 使用状態の縦断面図である。

【図 6】 使用状態の横断面図である。

【符号の説明】

【 0 0 2 0 】

1 1 包茎用サポーター

1 2 帯状リング

1 3 溝部

1 4 リブ

1 5 脱落防止リング

2 1 ペニス

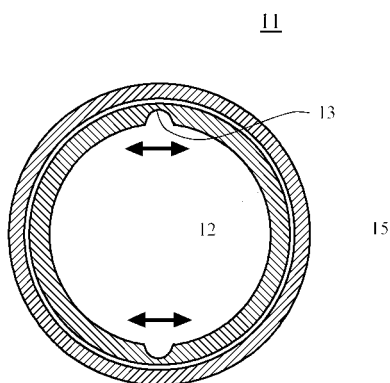
2 2 茎部

2 3 包皮

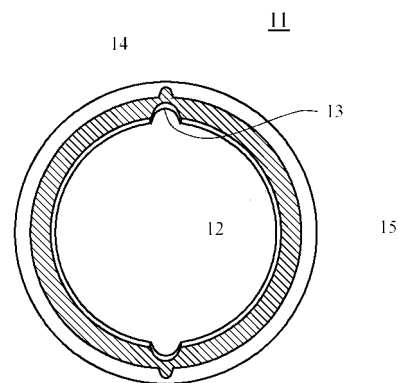
2 4 亀頭

10

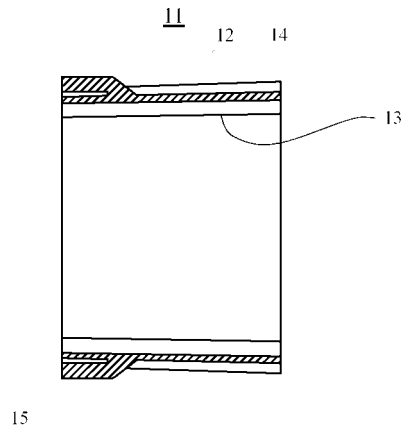
【図 1】



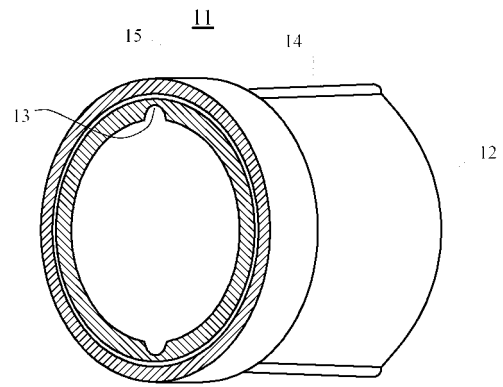
【図 2】



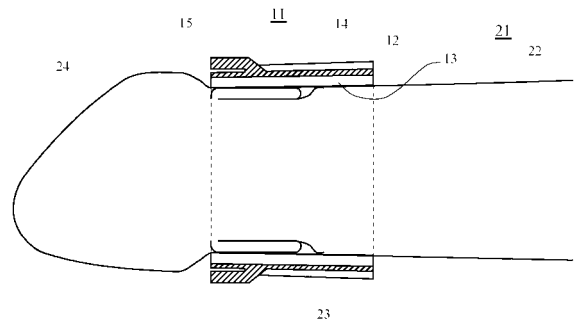
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

